

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年3月19日

1.本園の教育目標

①「健康」健康で明るく元気に満ちた子どもに ②「積極」素直で何事にも自分から進んで力いっぱい取り組む子どもに ③「協調」友だちと仲良く遊び、思いやりの心がわかる子どもに

2.本年度重点的に取り組む目標・計画

新型コロナウイルス感染症の影響が予断を許さない中、引き続きその拡大防止の対応を最優先に、安心安全な環境を整えながら、現時点でできる最善な方法を模索し、質の高い教育・保育を目指す。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	園児たちの園で過ごす時間が長くなり、職員がシフトで交代になる場合に引き継ぎ事項を正確に行うことで、保護者との連絡に漏れが無いように取り組む。	B	職員間の引継ぎ意識の重要性の認識も上がり、昨年度と比べると連絡漏れがかなり減ってきたように思います。引き続き取り組みが必要と思います。
2	保護者への連絡等の手段のほとんどが紙ベースであるが、コドモンをより活用し作業の効率化と保護者との連絡ツールの充実を図る。	A	コドモンを活用できるものはかなり移行が進みました。今後も連絡ツールの充実が必要である。
3	特別支援児が年々増加する中で、全職員が共通理解を心がけ、ネットワークを構築しながら、より良い援助の方法を再度検討する。	B	教職員が特別支援の研修等に積極的に参加し、より良い援助の方法を学びました。このことをより実践できるように、今後も取り組みを継続する必要がある。

評価(A→十分に成果があった B→成果があった C→少し成果があった D→成果がなかった)

4.総合的な評価結果

評価	理由
B	3つの評価項目について教職員が一致団結して取り組んだ結果、全ての項目で改善が見られたが、取り組み課題も重要で中々単年度での達成は難しいと思われました。今年度を端緒に引き続き3つの取り組みの更なる充実が求められる。

評価(A→十分に成果があった B→成果があった C→少し成果があった D→成果がなかった)

5.今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	保護者連絡	職員がシフトで交代になる場合に引き継ぎ事項を正確に行うことで、保護者との連絡の漏れが無いように引き続き重点的に取り組む。
2	教育保育内容	パパさん先生などの保護者参加の保育に対して、現在の家庭状況の変化に対応した保育やネーミングを再度検討する。
3	組織改革	定員変更を行い、職員一人一人の役割や動きも変わることが予想されます。その中で質の高い保育を展開していく。

6.学校関係者評価委員会(評議委員会を活用)の評価

本年度も一年を通して新型コロナウイルス感染症と戦った年度となりました。日頃の保育に加え、徹底した感染予防は大変なことだったと察せられます。このことは乳幼児の安心安全を強く意識した職員の素晴らしさを感じました。また、園運営でもコロナ禍を意識しながらも、できるだけ保護者ニーズに対応した、独自の教育・保育を達成させる取り組みを積み重ねていることを強く感じました。

保護者アンケート評価、公開保育における評価では高い評価が維持されています。今後も評価でいただいた意見を精査し、より質の高い教育・保育を目指して努力されることを望みます。